

スチュワードシップ・セミナーのご案内

主催：一般社団法人 スチュワードシップ研究会

『株主と企業との対話の拡大』

株主と企業との対話の一層の拡大・充実が期待されています。

第1部では、本年の株主総会の動向を総括して、対話環境の変化を振り返ります。

第2部では、主に「対話」において社外取締役に期待される役割に焦点を当て、証券市場出身で株主・投資家の考え方をよく知っており、現在上場企業の社外取締役を務めている鈴木氏、保田氏と、長期投資家として企業との「長期視点での対話」に携わってきた大堀氏をパネリストに迎え、内外証券市場の動向に詳しい神山氏をモデレーターとして、議論していただきます。

【日時】2017年10月4日（水）午後2：00～4：30（受付開始1：30）

【会場】日比谷図書文化館コンベンションホール（日比谷公園内）

【講師と演題】

第1部 講演 「2017年株主総会の総括」

濱田 裕司氏 株式会社日本投資環境研究所 シニア・コンサルタント

第2部 パネルディスカッション

「株主と企業の対話チャンネルの拡大—社外取締役との対話」

パネリスト：

鈴木 行生氏 日本ベル投資研究所 代表取締役 主席アナリスト
(株) システナ、いちご (株) 社外取締役

保田 隆明氏 神戸大学大学院 経営学研究科 准教授
小林産業 (株)、(株) マイネット 社外取締役

大堀 龍介氏 前 J P モルガン・アセット・マネジメント
R D P 運用本部長兼 C I O

モデレーター：

神山 直樹氏 日興アセットマネジメント チーフ・ストラテジスト

【講師・パネリストのご紹介】

濱田 裕司 (はまだ ゆうじ) 氏

株式会社日本投資環境研究所 SRコンサルティング部 シニア・コンサルタント。九州大学理学部卒業後、山一証券に入社し、企業・産業調査や事業法人企画などに携わる。EDSジャパンでのフィナンシャル・アナリストと野村インベスター・リレーションズでのIRコンサルティングを経て、2006年みずほ証券入社と同時に日本投資環境研究所に出向しIR・SRコンサルティング業務に従事。2008年に転籍し、現在に至る。

鈴木 行生 (すずき ゆきお) 氏

株式会社日本ベル投資研究所 代表取締役 主席アナリスト。東京理科大学大学院経営工学科修士課程修了。野村総合研究所取締役、野村アセットマネジメント常務執行役員、野村ホールディングス取締役、日本証券アナリスト協会会長、経済産業省「伊藤レポート」委員などを歴任。株式会社システナ（情報通信システム開発）、いちご株式会社（不動産心築）独立社外取締役。日本IR学会副会長。一橋大学CFO教育研究センター「投資家との対話」WS講師。WICI「統合報告」表彰委員、経産省「攻めのIT経営銘柄」表彰委員。

保田 隆明 (ほうだ たかあき) 氏

神戸大学大学院経営学研究科准教授。リーマン・ブラザーズ証券、UBS証券にて投資銀行業務に従事後、2004年に起業しSNSサイトを開設。同事業売却後、ベンチャーキャピタルなどを経て、2015年より現職。主な論文に「株式所有構造と企業統治～機関投資家の増加は企業パフォーマンスを改善したのか～」など。小林産業株式会社（東証1部）、株式会社マイネット（東証マザーズ）の社外取締役も務める。博士（商学）早稲田大学。

大堀 龍介 (おおほり りゅうすけ) 氏

1987年東京大学経済学部卒業、野村証券入社、海外投資顧問室配属。以後、野村総合研究所への出向を含めてセルサイド・アナリスト業務に従事。1996年、JPモルガンの資産運用部門にバイサイド・アナリストとして入社。調査部門を統括する調査部長を経て、2009年JPM運用本部（のちRDP運用本部）本部長兼CIOに就任。経済産業省「伊藤レポート」委員。投資家フォーラム運営委員。2017年3月JPモルガンを退社。

神山 直樹 (かみやま なおき) 氏

日興アセットマネジメント株式会社 チーフ・ストラテジスト。1985年日興証券（現SMBC日興証券）にてそのキャリアをスタート。日興ヨーロッパ、日興国際投資顧問を経て、1999年に日興アセットマネジメントの運用技術開発部長および投資戦略部長に就任。その後、大手証券会社および投資銀行において、チーフ・ストラテジストなどとして主に日本株式の調査分析業務に従事。2015年1月に日興アセットマネジメントに入社、現職に就任。

申込み方法：

参加ご希望の方は、お名前、ご所属（会社名、部署、役職）、ご連絡先（電話番号およびメールアドレス）を明記のうえ、メールの件名に＜10/4 セミナー申込み＞と記入して、9月28日までに、info@stewardship.or.jp までお申し込みください。

受付が完了した方にはメールでお知らせします。そのメールが参加証となりますので、印刷して当日受付にご提出ください。定員に達した場合は、その旨を当会ホームページ（<http://www.stewardship.or.jp>）でお知らせし、お申込みを締め切らせていただきますのでご了承ください。

なお、「事前のご質問」をお受けいたします。ご質問がある方は、参加お申込みのメールに「事前質問」として、ご記入ください。パネルディスカッションの中で、できるだけ回答させていただきたいと思っております。時間の制約などにより、全てのご質問にお答えできない場合は、ご了承ください。

参加費；1,000円（当日会場受付にてお支払いください）

スチュワードシップ研究会会員は無料

交通アクセス



*専用の駐車場はありません。日比谷公園地下駐車場をご利用ください。

スチュワードシップ研究会について

2014年2月に金融庁から公表された『日本版スチュワードシップ・コード』では、機関投資家が、投資先企業やその事業環境に関する深い理解に基づき、投資先企業との建設的な「目的を持った対話」（エンゲージメント）などを通じて、当該企業の企業価値の向上や持続的成長を促すことにより、顧客・受益者の長期リターンの拡大を図ることが期待されています。機関投資家のスチュワードシップ活動は、議決権行使にとどまるものではなく、企業と「対話」を行うことを含めた幅広い活動を指すとされ、コードの原則7では、「機関投資家は、（中略）当該企業との対話やスチュワードシップ活動に伴う判断を適切に行うための実力を備えるべきである。」とされています。

本研究会は、主に日本株式に投資する機関投資家が会員となってネットワークを形成し、スチュワードシップ活動を行うための「実力」を備えるための研鑽の場を提供し、合わせて適切なスチュワードシップ活動を行うための環境整備に資することを目指しています。

具体的には以下のような活動を行っています。

- ① 機関投資家の情報交換・意見交換・情報共有の場の設定
- ② 外部講師等によるセミナー、研究会等の開催
- ③ 共同による企業等との対話の場の設定
- ④ 関係諸機関への提案・提言や意見発信等
- ⑤ 社会への情報発信、スチュワードシップ活動に関する理解の促進

□当研究会についてのお問合せや会員のお申し込みは、info@stewardship.or.jp にご連絡ください。

□代表理事の経歴

木村祐基（きむら ゆうき）

一橋大学商学部卒業。野村総合研究所企業調査部にて証券アナリスト業務に従事。同社エマージング企業調査部長、野村アセットマネジメント（株）企業調査部長兼経済調査部長、参事コーポレートガバナンス担当、企業年金連合会年金運用部コーポレートガバナンス担当部長、金融庁総務企画局企業開示課専門官を経て、2014年10月から現職。